SWH NEWS LETTER 2018

2018 年の SWH

2017 年から継続している布ナプキンの製作指導に加えて、手毬、ポーチ、バッグなど様々な製品づくりにチャレンジした 1 年でした。また夏には寮&作業所を引っ越し、障がい作業所・ソンパオがローカル NGO となりました。2018 年の活動報告を是非ご覧ください。

ラオス 2018 年 1 月～2 月

■新年のボランティアデー　6 名参加で大量の布をカット！次回分までほぼ終わりました。成果がしっかりでて、活動報告もでき、充実した活動になりました。次回もよろしくお願いします♪

■松本和巳監督の映画　single mom 優しい家族　の取材で子育てパレットさんのフードバンクの現場に来ていただいていました。その繋がりで、スーパーカーのエンターテイメント集団「CARGUY」さんがクリスマスチャリティーを女性支援の現場に寄付下さいました！シングルマザーのお仕事支援や自立支援を行う日本シングルマザー支援協会さん、子育てママに寄り添う子育てパレットさん、そして私たち Support for Women's Happiness にもご寄付を頂きました。有難うございます！

■2 月のボランティアデー　毎月、ボランティアデーを開催しています。沢山の方が来て下さって本当に助かっています。2 月は布カットやパンフレット折りなどお手伝い頂きました！また来ます！お仕事がパソコン作業ばかりだから、手芸が楽しい！女子でわいわい作業するのいいですね。などなどうれしい感想をいただいています。 現地の事を想ってご参加下さる皆さんに感謝です！

■毎年、足立区のイベントで販売している動物刺繍ポーチ。既製品の買い付けではなく、モン族女性達に刺繍、カム族女性にミシンをお願いする形でオーダーできました。また Agatis さんからのオーダーは可愛い花柄。

Agatis　山口さんがカム族センターに来てくれました！生産者の女性達と繋ぐことができて、互いに顔を合わせて寄り添える機会に感謝です♡山口さんには昨年夏からずっとオーダー頂いてます、収入を得ることでセンターで訓練を受ける女性が増えました！ありがとうございます。

ラオス 2018 年 3 月～4 月

■3 月のボランティアデー　ボランティアデー！ラオスへ渡航したメンバーの話を聞いたり、鞠プロジェクトの説明をしたり、有意義な時間でした！有難うございました。

■カム族センターで SWH では職業訓練と障がい女性へのサポートを担当していますが、今年は施設を大きくしたいとリクエストが来ています。カム族センターには仕事を探しに来た人、進学に来た人、タイに売られて HIV に罹りレスキューされた女性や性犯罪被害にあって通院している人などが短期的に滞在できる場所でもあります。

■モン族の女性たちと会議。人気の動物ポーチのクオリティを均一にするべく型をつくりました！お母さんがカム、モン、タイデンなど様々な民族の生活を刺繍している布を見せてくれました。3 か月かかる大作だそうです。

■4 月、事務局に福井が本格参加してくれることに！　女性の幸せや生活、その生き方について深く考え必要なものは何か？を追求し続けている彼女。女性目線でのモノづくり、チームづくり、キャリア指導など多くの分野で活躍を期待ですね。石原にとってこの 10 年は自分のチャレンジしてみたい活動、プロジェクトに没頭できる時間でした。おかげさまで経験にも仲間にもめぐまれました。次の 10 年はお礼を込めて世代を各分野で育て渡していく時間ですね。

■高校生チームとのミーティング。 元気な高校生男子・西山君が学園祭に出してくださるとのことで（男子校！！！）製品選びの話し合いを行いました。やはり男子校ということでもう少しカラーバリエーションなど検討が必要そうです。カナダからの帰国子女 Yuri ちゃんはデザイン開発&販売の担当です♪元気な若者を見ているとハッピーな気分になりますね

■手毬プロジェクト　地巻のオーダーを頂き、大きさを測りながら糸を巻く練習が始まりました。

■薬物治療センター　タイミングよくご紹介頂いて、薬物治療センターのボランティアチーム・シェルターホームのチーム・女性の雇用促進チームと MTG できました！それぞれの持ち場の相互理解に加え、協力できる事を模索。また薬物治療に対してまだ整備されていない現状を知ることもできました。薬物から抜け出せずにいる親元で子どもたちが暮らしているのかや、薬物をやめて自立までに要する期間など、知りたいこともまだあります。私たちの女性支援は小さく・的確なサポートを目指しています、大きな活動はできませんが、障がい女性・少数民族女性・病気や薬物治療中の女性など振り向いてもらいにくい現場で継続していけたらと思います。

■車いすの運搬　　飛んでけ！車いすさんに、車いすを頂いて、ファイトクラブの皆さんがラオスに運搬して下さいました。サーさんとニースさんに無事に渡すことが出来ました！車いすを渡すには事前に座高をはかったり、足に力が入るかどうかなどチェックします。そのデータを飛んでけ車いすさんに提出し、体に合う車いすを選んでもらうシステムになっています。車いすがあれば、トイレまで自分で行ける、キッチンまで自分で行けるという風に生活が変わる場合もあります。自分の意思で動けるようになるのはとても大事ですね。

■4 月　ボランティアデー　4 月のボランティアデーは高校生が 3 名も参加してくれました！布カット、アクセサリーの金具付けなどをお手伝い頂きました。

ラオス 2018 年 5 月～6 月

■手毬の作業書作り　　株式会社 CAN さんが手毬をオーダー下さったので福井と石原で試作をはじめました。小さい手毬を作るのは本当に大変です、そしてどの糸を選ぶか、色の組み合わせをどうするかで手まりの雰囲気がガラッとかわります。5 月は毎日のように試作を続ける日々でした。

■「社会貢献という生き方」 長倉顕太さんのセミナー　社会貢献という生き方　に登壇させて頂きました。教育支援のお話から入り、ラオスでのモノづくり支援についても沢山お話させて頂きました。SWH 石原だけでなく、布ナプキンをオーダーして下さっている Agatis の山口さんにも登壇頂き、これまでの苦労話に会場の皆さんも興味津々で聞き入って下さいました。

■5 月ボランティアデー　夏のブルーシリーズの布カットをボランティアさんと実施しました！

■福井のラオス出張スタート

5 月は事務局・福井にとって初めてのラオス出張でした。ラオスの暑い気候、のんびりとした人の気質、シャイな性格などなど、慣れるまで大変ですが、持ち前のコミュニケーション能力ですぐに障がい女性達と打ち解けてくれました。このころはまだ参加者も 5－6 名でカム族のセンターでこじんまりと訓練を実施していました。

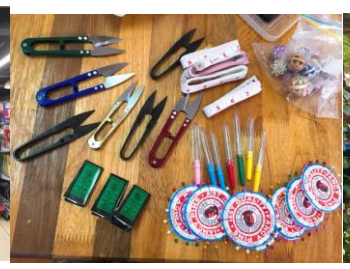
■Minna no Café を訪問

障がい者支援を行っている ADDP さんが運営する Minna no Café　にお邪魔してきました。聾唖のこたちがコーヒーのオーダーをとってくれるので、こちらも手話で注文をするカフェです。またクッキー工場では知的障がいのある子達も働いています。

■手毬の指導がはじまりました

ラオスの女性達への手毬の指導が始まりました。糸の組み合わせを考えながら、まずは一緒にサンプルづくり。モン族の女性はやはり針仕事が上手です。他の子達も繰り返し教える事で上達しますが、やはり幅を均等にしたり大きさを揃えることは教えないと難しいようです。

■作業場のサポート　トゥクトゥク、棚、タッパー、各自の道具箱や針・はさみ、メジャー等



作業場には、作業者それぞれが使う糸切ハサミや、メジャー、針などをそろえてお道具箱を設置しました！また材料を整理するための棚も準備できました。更に、電動トゥクトゥクを支援金から購入させて頂き、足の障がいの子達も出かけられるようになりました。

■布ナプキンの作業

布ナプキンの作業は・布カット・布の組み合わせ・布タグの縫い付け・型を描く・縫う　・ひっくり返す・縫う・アイロンをかける・糸処理やボタンつけなど　とたくさんの工程があります。健常者の SWH スタッフでも難しいと思う作業もあり、繰り返し訓練が必要です。作業所の女性達の技術は日々向上しています！

■6 月のボランティアデー

日本ロレアルさんのボランティア強化月間で 5 名の方が参加してくださいました！

有難うございました！

ラオス　2018 年 7 月～8 月

■薬物治療センター

女性の薬物治療センター開所に向けて。国営ではない薬物治療センター開所を頑張っているチームがあります。すでに 3 か所の施設が運営されています。入所者は 1 年ほどの職業訓練を経て、農業や清掃業に従事する人が多いようです。まだ女性専用のセンターはなく、ドミトリーの建設とその後に職業訓練センターの開所を目指したいというオファーです。発展途中の国では、受益者の数が少なく、生産効率の低いところにはなかなか予算を割けない現実があります。それでも生きていかなくてはならない現場では、こうして色々な人が力を合わせて頑張っていますね。

■7 月ボランティアデー

名古屋の学生と東京の高校生達が参加！

■エアコンのご寄付を頂きました

SUB Hirohama Corporation 様より、カム族の作業所にエアコン（しかも日本製！）のご寄付を頂きました。ラオスの雨季は本当に暑くて、扇風機だけでは凌げない日もしばしば･･･。作業効率が上がりますね、有難うございます！！

■ラオス作業所にお客さんが来て下さるようになりました！

たくさんの方が工房に見学に来てくださいました！！どなたもラオスの女の子達のために何ができるか真剣に考えてくれています。その場でピアスを買ってくださった方も！女の子達も自分達が作った手毬ピアスが売れて嬉しそうでした。いずれ私たちが居なくなっても大丈夫なように、販売の練習も必要ですね。

■通院支援

障がいがある子もそうでない子も、中々病院に行く機会がありません。通院にかかるお金が払えなかったり、検査費用が高額だったりして通院を諦めていて、健康管理ができていない状況でした。生まれつき低身長の子は、体が小さく手足に奇形もあるので体を動かく時間が短くなりがち。また水分が不足していることもあって白血球やコレステロールの値が高くなってしまっています。他の子も貧血気味の子がいたりと、引き続き通院支援が必要になります。今回の通院もサポータさんからのご支援で成り立っています。有難うございます。

■エシカルペイフォワードさんでイベント

エシカルペイフォワードさんのポップアップショップで販売させて頂きました！有難うございます。パイナップル柄の布ナプキンを楽しみにしてくださっている皆さま、もうすこしお待ちください♪

■ラオス　水害事故

ラオス　アッタプー県でダムが決壊して村が流されるという痛ましい事故が起きました。

出来ることは多くありませんが現地から布ナプキンオファーを受け、実施することにいたしました。

■ラオス水害支援　ボランティアデー

ラオスの水害支援のため、沢山のボランティアさん達がお仕事の後に集まって作業を夜遅くまで手伝って下さいました。ラオスの避難所から布ナプキン含む衛生用品のオファーがあった時、agatis さんがすぐに決断下さって布ナプキンを送るため活動が始まりました。ありがとうございます!

■ラオスの手毬　2.6 センチ　上手に作れるようになりました。ブランド名は「花蓮てまり」に決まりました！

花　蓮
てまり
KAREN TEMARI

■配布する避難所

Noi さんがラオスで布ナプキンを受け取って、社会福祉局に配布先の相談に行ってくれました。今回は 46 名の女性が避難している Thadua 村の避難所へ布ナプキンを届けてもらえることに。明日の飛行機に載せて下さるそうです。初回の配布状況を見て、さらにニーズがあるようでしたらラオスの障がい者センターに製作をお願いし、追加で配布できればと思います。日本国内でお手伝い下さったボランティアさん、現地で動いて下さった Noi さん、有難うございました！

■避難所で配って頂いた時の様子です

■東京新聞さんに花蓮てまり掲載！

2018 年 8 月 27 日の東京新聞・朝刊にラオスで指導して作っている花蓮てまりの取り組みが掲載されました！2018 年の夏はクラウドファンディングで手まり工房の改装や手まりブランド設立にチャンレンジさせて頂き、記者さんがそれを読んでくださって、取材を申し込み下さいました。嬉しいですね、有難うございました！

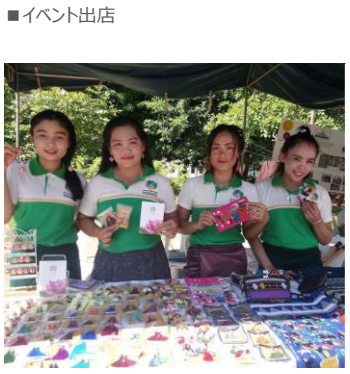
ラオス　2018 年９月～10 月

■9 月ボランティアデー　ラオスから届いた手まり 800 個にマルカンをつける作業を行いました！

■障がい作業所&ローカル NGO ソンパオ

手まりのオーダーが増え、また入所したい人からの応募が続いているため、思い切って作業所と寮を広い所に引っ越ししました。そしてこの場所で政府の指導をうけながらローカル NGO としての登録申請を行いました。障がい作業所ソンパオは、主にポリオで足に障がいがある女性、先天的な障がいのある女性、事故やケガで障がいが残った女性、少数民族女性、貧困家庭の女性などにお仕事を提供し、適正な給与をもらえるようになる事で自立を促す場所でもあります。現在 18 名の女性達が作業に携わっています。男性 17 名も所属しており、彼らはセンターから 1 時間ほどの所で農作業を担当しています。

■イベント出店



ビエンチャンで開催された village focus international さんのイベントに xonpao チームが出展して花蓮てまりを販売してくれました！ブースには不発弾で作られたアクセサリーやモン族の刺繍雑貨も並びました（ラオスは人口一人あたりの爆撃が最も重い国でもあります）。組織を作った事でこういったイベントにも出せるようになりました。販売や会計も一つずつ練習ですね、

■丸形ライナーの試作

学生ボランティアさんがラオス作業所で指導してくれました！agatis さんからオーダーを受けた初の丸型ライナー。カーブが難しいため心配していたものの、上手にできました。poorju さんは車椅子で生活していますが、手先が器用です。モン族のため刺繍もできます。ラオス側の指導は、2017 年からずっとミシン作業を担当してくれているワンサーンさん。カム族センターのスタッフさんで、本当に細やかに仕上げてくれるので安心です！ワンサーンさんは指導も担当してくれています。

■ご報告に伺いました！

山田賢司代議士にご挨拶へ。被災後のネパールに来て下さり、私たちの女性支援活動も立ち上げ当初から応援下さり有難うございます！本日はラオスの障がい女性たちと作る「花蓮てまり」を持って伺いました。障がい女性の生活を守るだけでなく日本文化を継承していくためのプロジェクトです。ラオス、日本ともに実りがあるよう頑張りますお忙しい中、お時間有難うございました♪

■女性のライフプラン

一般社団法人シンクパールさんの女性の健康保持増進に向けた取り組みの勉強会へ。がん検診、働く女性たちのライフプラン等について学びました。ラオスでも女性達にキャリアや家族計画について勉強会やりたいねと話していた矢先に、ラオスから子どもを引き取ってほしいと打診がきました。望まない妊娠や経済的な困窮はどこの国でも起こり得ることで、女性が主体的に行動していく教育が必要だと思います。

■10 月 5 日　読売新聞に花蓮てまりが掲載

■代々木公園　スポーツオブハートに出展しました！

■ラオス　ハンドクラフトフェスティバルに出展しました！！

ビエンチャンで開催されたハンドクラフトフェスティバル、JICA　LAOS さんのブースで棚を１つ貸していただきまして、ソンパオや ADDP さんの製品が並びました！有難うございます。ハンドクラフトフェスティバルにはラオス各地からその地域の織物や染め物、工芸品などが集まってくるため、個人の方～業者さんまで多くの方が見に来るイベントになっています。大きなイベントでソンパオのメンバーにとってもいい機会だったと思います。

■日本語学校

学校建設支援でラオス入りしている LBP の皆さんがソンパオチームで働くファンちゃんとダオちゃんの日本語教室初歩クラスへの学費支援をして下さいました。私たちと関わるようになって知った日本語通訳士の存在。「私たちも日本語を習ってみたい！」という思いを実現するためについに動き出しました。

■作業机・椅子

視察の合間に LBP さんが障がい作業所へ作業机と椅子、材料棚をご支援下さり運んで下さいましたここ３ヶ月は大きな作業台がなく、作業しづらい日が続いていました。机がくるよー！とイベント出展中のみんなに知らせたら、大喜びで作業所に帰ってきました。これで布地を広げたり、２人１組で作業したり、できるようになります。ありがとうございます

ラオス　2018 年１１月～１２月

■ハンドクラフトフェスティバルにお客様

なんとかしなきゃ！プロジェクトの活動の一環で青文字系モデルの柴田紗希【しばさき】ちゃんが障がい作業所ソンパオのブースに来てくださいました！可愛らしさに見とれながら♡ソンパオの説明をさせて頂きました。xonpao、ADDP さんの製品、JICA 協力隊員の方達の活動地域の製品を一つ一つ丁寧に見て下さっていましたインスタにラオスの様子、ホアイホン職業訓練センターでの様子などアップして下さっています♡ たくさんの方にラオスを知って貰える機会になりますね。ありがとうございます。

■あだち国際まつり

今年も足立区のベルモント公園で開催される「あだち国際祭り」に出展させて頂きました。毎年出展させて頂いているこのイベントには、世界各国の料理が屋台に並んだり、ステージではファッションショーや踊りが披露されます。多文化共生を目的として、地域の方たちも沢山参加される区のイベントです。私たちのブースは建物内に設置していて、毎年楽しみに来て下さる方が多くいらっしゃり、販売する側も嬉しくなるイベントです。来年も宜しくお願いします！

■布ナプキンの作業

agatis さんからオーダー頂いている布ナプキン、今回のミシンは足に障がいのあるパージューさん、アイロンや糸処理は右手に麻痺のあるナムさんが担当しています。これは私が担当したの、みてみて！検品 OK！？と聞いてくることもしばしば。自分で作れるものがある、役割があるというのは彼女たちの自信になると思います。右手が動かなくても、工夫をすれば出来ることが沢山あります。

■てまりの巾着

花蓮てまりを郵送する際につかっている巾着は、これまでは市販のものを購入していました。今回、オーガンジーの生地を日本から持ち込み、ミシンチームにサンプルづくりを依頼。サイズを調整しながら製品を確定して、無事にオーダーとなりました！！初めて作るものが多い作業所でのお仕事になりますが、みんな頑張ってくれていると思います。

■ミシンチーム

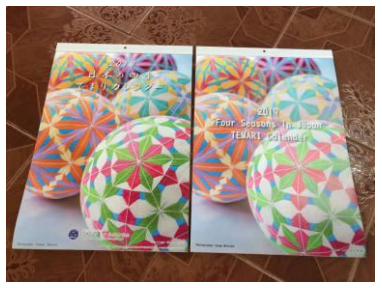
ミシンチームのリーダーは PA さん（写真左）。笑顔がとってもかわいい女性です。彼女は先天的ではなく、2 歳の時にやけどで指を失いました。指がないけれど、ミシンの作業がとても上手。そしてすごく真面目に一生懸命、お仕事に取り組んでくれる子でもあります。今回はトートバックの試作を彼女にお願いしてみました。3 色、1 回目はやはり持ち手がずれたり、糸処理が甘い部分は見受けられましたが、2 回目の 3 色はほぼ完ぺき！今後、接着芯を入れるかどうか、バッグにマチをつくるかどうかなど一緒に話し合いながら製品化できればと思います。

■フォーランチ

この日、作業所についたら韓国の方達、オーストラリアのボランティアさんが来ていて、皆にフォーランチを振舞って下さいました！35 名の障がい者を支えるには一つのチームでは難しいため、色んな方が少しずつソンパオチームを支えて下さっています、ありがとうございます。チーム内でも、手の障がいでペットボトルを開けられない人がいたら隣の人がサポートし、帰り際には車椅子をさっと準備し、足に障がいのない子が器の後片付けをします。まだまだ大変なことが沢山ありますが、頼るだけでなく自分たちでできることをやって行こうと頑張っています。

■日本からゲスト

てまりをオーダー下さっている株式会社 CAN さんがラオスに来て下さいました。色彩感覚やデザインに対する興味が刺激されるように、と「日本てまり文化振興協会」さんのてまりカレンダーを持ってきてくださいました。前回ラオス視察をして下さったときは、まだカム族センターを間借りして作業をしていましたので、新しい寮と作業所をみてもらうのは今回がはじめて。障がい作業所のみんながどんな生活を送り、どんな風にお仕事をしているのか見ていただくいい機会になりました。作業所の子達にとっても、どんな人が・会社さんがオーダーしてくれているのか知る場になりますし、互いに愛着をもてるきっかけにもなると思います。お土産でもってきてくださった日本のお菓子が大人気！です。



■マッサージの訓練

株式会社 CAN さんのサポートでマッサージの先生がラオスに来て下さいました。11 月中旬～1 か月間、ラオスに滞在し、障がい作業所の子達に足つぼマッサージを教えてくださいました。作業所を支えたり自立するための柱をモノづくり 1 本ではなく、複数の柱を作りたいと考えていたので、現場もとても喜びました。マッサージは材料が殆ど必要なく、上手になればより良い環境のマッサージ店で働いたり、自分で小さなサロンを開くこともできます。まだ足つぼマッサージとハンドマッサージがメインではありますが、少しずつステップアップをし、来年は作業所でお店を構える事を目標にしていければと思います。

■製品案内

「Coi」さんの自然染・手紬のランチョンマットは SWH のショップ「フランムアン」でお買い求めいただけます！　https://www.franmuan.com/

ラオス障がい女性が作る　Agatis の布ナプキンはこちら　https://agatis.thebase.in/

花蓮てまりはこちら　https://karentemari.theshop.jp/　です！

ご支援の募集

■奨学金支援

2019 年は少数民族・アカ族の女性達への奨学金支援を予定しています。中高への進学率が低い女の子たちを進学させるプロジェクトです。 年間 60000 円

■障がい作業所支援

障がい女性達の医療費や生活に必要なものの購入など、手が行き届いていない部分をサポートするプロジェクトです。一口 3000 円～

■教育支援

障がい女性達の日本語学校通学や、夜間学校進学などをサポートするプロジェクトです。

一口 10000 円～

■制服プロジェクト

学校制服を買う事ができない、僻村の子どもたちに制服を作って配布するプロジェクト。制服づくりは障がい作業所ソンパオの女性達が担当します。 1 セット 2000 円

Support for Women’s Happiness

〒120－0026　東京都足立区千住旭町 41－14－6F　/　TEL　05053285063　/　Mail　s.f.w.h.2017@gmail.com

HP　https://www.support-women.net/　/　支援先口座　ゆうちょ銀行　０１８支店　普通口座　7893205

Support for Women’s Happiness